## 景観形成方針への配慮のチェックリスト

[⑭歴史的街道区域(重点区域)]

		景観づくりの基本方針	届出者・設計者等が配慮した内容
■景観	(1)	歴史的街道沿道であることを意識した景観づくりを行う。	
観計画区域へ	(2)	伝統的なまちなみが残る区域については、各地域の特色や歴史を読み取るとともに、周辺のまちなみとの調和に配慮した景観づくりを行う。	
全体で取り	(3)	歴史的街道の景観整備については、沿道の歴 史的資源や伝統的なまちなみとの調和に配慮 するとともに、道路占用物等が乱立しないよ うに努める。	
組む方針	(4)	歴史的街道にある道標、地蔵堂などは、周辺 のまちなみと一体となって歴史的な雰囲気を 形作っていることから、適切な維持、管理を 行う。	
21	(5)	伝統的なまちなみが残る区域に掲出される屋 外広告物は、沿道の建築物や周辺のまちなみ との調和に配慮する。	
		山中宿地区	
重点区域		歴史と自然環境が調和した独特の歴史的景観 に配慮した良好な生活環境、景観の保全・創 造を図る。	
■一般区域		歴史的街道としてのつながりを意識し、一部で歴史的資源や伝統的なまちなみが残っている地区があることなどを踏まえ、周辺との調和に対して一定の配慮を行う。	

## 景観形成基準との適合チェックリスト(歴史的街道区域(重点区域・山中宿地区)に適用)

(該当する項目にチェックして下さい)

【	駐車場・駐輪場・ごみ置場等が敷地の外から見える所にあるか		基準に不適合	届出者・設計者等の意見
場所に配置する場合は、植栽により修景し、又は建築物 若しくは塀と一体化する等により、見苦しくならないような工夫をする。	t I	□ 見える所にない	□ 見える所にある	
、若しくは塀と一体化する等により、見苦しくならない。 うな工夫をする。				
うな工夫をする。		□ 工夫している	□ 特に工夫していない	1
	見えるが、植栽等による修景、建築物・塀等との一体化など、 見苦しくない工夫をしているか	ロエ大している	日村に工夫していない	
	光日とくない工人をもているが			
《建築設備・附属物等》	ダクト類が敷地の外から見えにくい位置にあるか	□ 見えにくい	□ 見える	
〇建築設備(エアコンの室外機、ダクト類、高架水槽			_ 441 411	
等)、屋外階段、屋上工作物及び塔屋等は、街道から見		□ 工夫している	□ 特に工夫していない	
にくい場所に配置する。やむを得ず見える場所に配置する場合は、修景や建築物と一体化する等により、見苦し		□ T±1 ている	□ 特に工夫していない	
る場合は、修泉や建業物と一体化する等により、見古じ  くならないように工夫をする。	をしているか	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	141CTX C C C C C C C C C C C C C C C C C C	
(4540 6710 1727 27 08	エアコン室外機、物干金物等が敷地の外から見えるか	□ 見えにくい	□ 見える	
		□ 工夫している	□ 特に工夫していない	
《屋外広告物》	<u>見えるが、見苦しくない工夫をしているか</u> 屋外広告物の色彩は落ち着いた色とし、周辺と調和するように	□ 英七美いた名の田辺を囲むしている	□ 周辺と調和していない	
○建築物との一体感が感じられ、際立った色使いを避	要めているか 野めているか	口 浴り着いた色で周辺と調和している	口 周辺と胴和していない	
け、落ち着いた色にするなど、建築物や周辺の伝統的な				
まちなみと調和したものとするよう努める。				
○周囲の山並みと伝統的なまちなみが一体となった景観	見 大きさ・数量を最小限に抑えているか	□ 抑えている	□ 抑えていない	
に配慮し、必要最小限の大きさ・数量とするよう努め				
3.	■ BB は日担佐のながは無彩な佐田田 1 ==================================	日毎彩を佐て田辺上部和している		
《色彩》 ○外壁、屋根及びシャッター等の基調となる色彩は、※	外壁や屋根等の色彩は無彩色等周辺と調和しているか	<ul><li>□ 無彩色等で周辺と調和している</li><li>□ 基準を超えていない</li></ul>	□ 周辺と調和していない □ 基準を超えている	1
Oが壁、座板及びフャップ一等の基調となる色彩は、// 手なものとはせず、白、黒、灰色等の無彩色や濃茶等II		□ 基準を超えていない	山 基準を超えている	
辺の伝統的なまちなみに調和したものとする。	②Y(黄)系の色相の場合、彩度4以下			
※別表6-3の色彩基準を遵守すること。	③その他の色相の場合、彩度2以下			
	サブカラー、アクセントカラーの基準面積を超えていないか	□ 基準面積を超えていない	□ 基準面積を超えている	
	①サブカラー: 3分の1以下			
# L D+\\	②アクセントカラー: 20分の1以下			
《外壁》 ○壁面の位置、外壁の仕上げ、開口部などは周辺の建3	周囲のまちなみの連続性に配慮した外壁面等となっているか、 を また、伝統的な様式になじまない外壁素材となっていないか	□ 外壁面等は周囲と連続している	□ 外壁面等は周囲と連続していない	
〇壁画の位直、外壁の仕上げ、開口部などは周辺の建筑 物との連続性に配慮する。	また、伝統的な休式になしまない外壁系材となっていないか	□ 伝統的素材を使用	□ 伝統的素材の使用なし	
物との建械性に配慮する。 ○木、石、漆喰などの伝統的素材、又はそれらと調和す	r -	(調和素材を使用)	(調和素材の使用なし)	
るものとする。		Charles Civilia	(martant in or item)	
《屋根》	勾配屋根となっているか、また、1階部分に庇があり、周辺の	□ 勾配屋根	□ 勾配屋根以外	
〇原則、勾配屋根とするとともに、1階部分には、庇を		□ 庇あり(1階部分)	□ 庇なし(1階部分)	
けるなど、周辺のまちなみとの連続性に配慮する。				
# # F	に仕込む様子におりまたした。マルカルも			
《意匠》	伝統的な様式になじまない意匠となっていないか	□ 伝統的様式あり	□ 伝統的様式なし	
〇伝統的様式(格子戸、むしこ窓等)、又はそれらとii 和するものとする。	4	□ 伝統的様式と調和する	□ 伝統的様式と調和しない	
○敷地内には緑を配置するよう努める。	敷地内を緑化しているか	□ 緑化している	□ 緑化していない	
〇緑の配置に際しては、周辺の山並みと一体となった眼		_ 18100 00 0		
望及び街道に面した生垣等による連続性等に配慮の上、			□ 特に検討していない	
植栽する樹木の位置、種類及び形状等を検討する。	る連続性等に配慮の上、植栽する樹木の位置、種類及び形状等			
	を検討しているか			
《色彩》	外壁や屋根等の色彩は無彩色等とし、周辺と調和しているか	□ 無彩色等で周辺と調和している	□ 周辺と調和していない	
<u>《色彩》</u> ○外壁、屋根及びシャッター等の基調となる色彩は、》		<ul><li>□ 無彩色等で周辺と調和している</li><li>□ 基準を超えていない</li></ul>	□ 基準を超えている	
<b>○介堂、産権及びシャップ―寺の基嗣となる巴彩は、』</b> 手なものとはせず、白、黒、灰色等の無彩色や濃茶等履		□ 金牛で短んでいない。	ロ 金牛で足んている	
辺の伝統的なまちなみに調和したものとする。	② Y (黄)系の色相の場合、彩度4以下			
※別表6-3の色彩基準を遵守すること。	③その他の色相の場合、彩度2以下			
	サブカラー、アクセントカラーの基準面積を超えていないか	□ 基準面積を超えていない	□ 基準面積を超えている	
	①サブカラー: 3分の1以下 ②アクセントカラー: 20分の1以下			
《外壁》	垣、さく等は、街道との敷際に配置し、周辺との連続性に配慮	□ 周囲と連続している	□ 周囲と連続していない	
〇垣、さく等(塀、門等)を配置する場合は、街道との	しているか			
	)	ロ田切にわばしている	ロ田切けたドノマいかい	
敷際に配置し、周辺との連続性に配慮する。それ以外の	それ以外の工作物の配置は、周辺のまちなみに配慮しているか	山 周辺になじんでいる	□ 周辺になじんでいない	
敷際に配置し、周辺との連続性に配慮する。それ以外の		□ 周辺になじんでいる	□ 周辺になじんでいない	
敷際に配置し、周辺との連続性に配慮する。それ以外の 工作物の配置は、周辺のまちなみに配慮する。	周辺岩和になりまた1)美しく空出した首原となっていたいか	- MAZI 6 070 CV - 0	□ 突出させている	
敷際に配置し、周辺との連続性に配慮する。それ以外の工作物の配置は、周辺のまちなみに配慮する。 《意匠》	周辺景観になじまない著しく突出した意匠となっていないか			
敷際に配置し、周辺との連続性に配慮する。それ以外の 工作物の配置は、周辺のまちなみに配慮する。 (意匠) 〇周辺の景観になじまない、著しく突出した意匠、色 彩、デザインとしない。				
敷際に配置し、周辺との連続性に配慮する。それ以外の工作物の配置は、周辺のまちなみに配慮する。 (意匠) ○周辺の景観になじまない、著しく突出した意匠、色 致、デザインとしない。 ○敷地内には緑を配置するよう努める。	敷地内を緑化しているか	□ 緑化している	□ 緑化していない	
敷際に配置し、周辺との連続性に配慮する。それ以外の工作物の配置は、周辺のまちなみに配慮する。 (意匠) ○周辺の景観になじまない、著しく突出した意匠、色 シェデザインとしない。 ○敷地内には線を配置するよう努める。 ○縁の配置に際しては、周辺の山並みと一体となった8	敷地内を緑化しているか  ↓			
敷際に配置し、周辺との連続性に配慮する。それ以外の工作物の配置は、周辺のまちなみに配慮する。 (意匠) 〇周辺の景観になじまない、著しく突出した意匠、色 致、デザインとしない。 〇敷地内には縁を配置するよう努める。 〇縁の配置に際しては、周辺の山並みと一体となった即望及び街道に面した生垣等による連続性等に配慮の上、	敷地内を緑化しているか	□ 検討している	<ul><li>□ 緑化していない</li><li>□ 特に検討していない</li></ul>	
敷際に配置し、周辺との連続性に配慮する。それ以外の工作物の配置は、周辺のまちなみに配慮する。 (意匠) ○周辺の景観になじまない、著しく突出した意匠、色 <u>彩・デザインとしない。</u> ○敷地内には終む配置するよう努める。 ○緑の配置に際しては、周辺の山並みと一体となった8	敷地内を緑化しているか  ↓	□ 検討している		